

令和2年第1回定例会の議決結果

議案番号	件 名	採決結果
議案第1号	いすみ市監査委員条例の一部改正について	可 決
議案第2号	いすみ市行政組織条例の一部改正について	可 決
議案第3号	いすみ市副市長の定数を定める条例の一部改正について	可 決
議案第4号	いすみ市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	可 決
議案第5号	いすみ市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	可 決
議案第6号	いすみ市印鑑条例の一部改正について	可 決
議案第7号	いすみ市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	可 決
議案第8号	いすみ市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第9号	いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第10号	いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例及びいすみ市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について	可 決
議案第11号	いすみ市学校職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	可 決
議案第12号	いすみ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第13号	いすみ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第14号	いすみ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第15号	いすみ市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第16号	いすみ市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第17号	いすみ市水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第18号	重要な公の施設の長期かつ独占的な利用について	可 決
議案第19号	市道路線の認定について	可 決
議案第20号	市道路線の変更について	可 決
議案第21号	令和元年度いすみ市一般会計補正予算（第9号）	可 決
議案第22号	令和元年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第23号	令和元年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第24号	令和元年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第25号	令和元年度いすみ市水道事業会計補正予算（第5号）	可 決
議案第26号	令和2年度いすみ市一般会計予算	可 決
議案第27号	令和2年度いすみ市国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第28号	令和2年度いすみ市介護保険特別会計予算	可 決
議案第29号	令和2年度いすみ市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第30号	令和2年度いすみ市水道事業会計予算	可 決
議案第31号	令和元年度いすみ市一般会計補正予算（第10号）	可 決
議案第32号	令和2年度いすみ市一般会計補正予算（第1号）	可 決
議案第33号	いすみ市教育委員会教育長の任命について（赤羽良明氏）	同 意
議案第34号	いすみ市教育委員会委員の任命について（押塚 尚氏）	同 意
議案第35号	いすみ市監査委員の選任について（小高美一氏）	同 意

令和2年 第1回定例会 議会だより 第58号

令和2年第1回定例会が2月25日から3月13日までの18日間の会期で開催されました。
この定例会では、市長から提出された令和2年度いすみ市一般会計予算ほか34議案を審議し、採決の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。



○令和2年度 いすみ市一般会計 予算及び各特別会 計予算を可決	○いすみ市教育委員会 委員長に赤羽良明氏を任 命することに全会一致で 同意しました。	○いすみ市教育委員会 委員に押塚尚氏を任命す ることに全会一致で同意 しました。	○いすみ市監査委員に 小高美一氏を選任するこ とに全会一致で同意しま した。
一般会計予算 162億2200万円	後期高齢者医療 特別会計予算 6億561万8千円	水道事業会計予算支出総額 24億5357万3千円	
国民健康保険特別会計予算 52億733万6千円	介護保険特別会計予算 43億3970万円		

委員会 審査 報告

3月4日及び5日に各常任委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。ここでは、令和2年度いすみ市一般会計予算における主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案10件について審査を行いました。
問 カーボン・マネジメント強化設備更新工事の内容について伺いたい。
答 いすみ市役所大原庁舎及び大原保健センター照明設備のLED化並びに空調設備の更新を行うものです。

文教厚生常任委員会

議案9件について審査を行いました。
問 個人番号カードの普及率について伺いたい。
答 約14%となっております。

産業建設常任委員会

議案7件について審査を行いました。
問 農地耕作条件改善事業の岩船地区補助金について、当該地区で実施する理由について伺いたい。
答 耕作放棄地解消に向けた気運が高まり、合意形成されたことにより、県の事業採択を受け実施するものです。

Q&A 一般質問 市政をきく

第1回定例会の一般質問は、2月27日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。
 なお、一般質問及び議案審議状況等の会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。
 (第1回定例会の会議録は6月上旬に公開を予定しています。)

高 森 和 久 議員	教員の働き方改革に資する統合型校務支援システムの導入／新デザインのご当地ナンバープレート／環境負荷軽減のための超小型電気自動車の導入／国民健康保険税の軽減
井 上 ひ ろ み 議員	地球温暖化問題から市民を守る施策／令和2年度予算／教員の働き方改革／加齢性難聴者に対する補助制度創設
山 口 朋 子 議員	子育て支援のためのスマートフォンアプリ／中学2年生を対象とした無料ピロリ菌検査／防災対策に女性の視点を生かす取組
元 吉 栄 一 議員	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進／平和行政の推進
久 我 司 議員	地方創生
田 井 秀 明 議員	新型コロナウイルス感染症対策／認知症対策／小・中学校におけるICT化
大 曾 根 信 太 郎 議員	道の駅計画の現状／小売及びフードサービス業の振興対策／今後の移動手段の確保／津波避難対策

教員の働き方改革に資する統合型校務支援システムの導入

高森和久議員

答 必要性については、十分に認識している

高森議員 統合型校務支援システムの必要性について、市としてのどのような認識をもっているのか伺いたい。教育長 近年、学校に求められる役割が複雑化・多様化し、事務的な業務や成績処理等の事務負担が増大している中、教職員の業務改善は喫緊の課題となっており、統合型校務支援システムは、学校における児童生徒の基本データがすべて連動することから、通知表・指導記録・出席簿・健康診断表等を別々に作成することがなく、成績処理、学籍管理等の校務全般を一元的に管理・運用できるネットワークシステムです。市としても、事務を効率化することにより教員の本来の業務である子どもとの触れ合いや授業改善への時間が増えること、教員の業務の効率化と教育データの活用による教育の質の向上、また情報セキュリティの観点からも、その必

地球温暖化問題から市民を守る施策

井上ひろみ議員

答 国の施策や県または各自治体の動向を注視しながら判断をしていきたい

井上議員 「気候非常事態宣言」を出し自治体としてできることを進めつつ、市民や他の自治体にも行動を呼びかける動きを広げる必要があると思うが、市の考えを伺いたい。環境水道課長 市では、いすみ市地球温暖化対策実行計画に基づき、いすみ市カーボン・マネジメント推進委員会及びCO2排出削減プロジェクト会議を設置し、関係部局が連携を図り、日常的に職員一人ひとりが事務事業の執行の中で、温室効果ガスの削減や省エネ、省資源への取組を推進し、また環境関連法令等の順守に努めているところであり、その温室効果ガス排出量の実態及び取組、成果等を市の内外に広く公表し、市民・事業者への率先垂範となることを目指しています。今後、国の施策や県または各自治体の動向を注視

子育て支援のためのスマートフォンアプリ

山口朋子議員

答 他の自治体の事例を参考に検討していきたい

山口議員 乳幼児から中学生までの子育て世帯を対象に、市の子育て支援情報や健診・予防接種の情報、子育て世帯に役立つ情報など、子育てに役立つ情報を一つにまとめたアプリを導入する考えはないか伺いたい。福祉課長 現在、市が周知している子育て支援アプリとして、千葉県が実施している無料スマートフォンアプリ「ちばマイスタイルダイアリー」があります。このアプリは、県や各市町村が実施するイベント情報のほか、専門家による健康相談や子どもの成長記録機能、予防接種の管理ができます。また、市においては、市の公式ホームページやフェイスブックなどで、健診・予防接種や子育て支援に関する情報発信を行っています。しかしながら、ホームページなどでは必要な情報

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進

元吉栄一議員

答 今後もユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進していく

元吉議員 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱ができてから15年が経過したが、市ではユニバーサルデザインの視点に立つてバリアフリー化をどのように進めてきたか伺いたい。総務課長 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱では、公共交通機関、公

が探しにくい、情報の更新が遅いといった課題があると認識しています。今後はホームページなどの情報発信ツールの見直しや更新頻度の向上、県のスマートフォンアプリのさらなる周知など、関係機関、関係部署と連携し、子育て支援に関する情報提供の強化と内容の充実に努めていきます。なお、子育て支援のための市独自のスマートフォンアプリ導入につきましては、現在のところ考えていませんが、他の自治体の事例を参考に検討していきます。

共施設、住宅・建築物の整備などハード面の取組のほか、職員の対応や情報提供などソフト面も含め、国民誰もが自然に支えあうことができるようにする、心のバリアフリーを推進していきます。市におけるソフト面の取組では、市民の方が気持ちよくスムーズなサービスが受けられるよう利便性の向上に努めているほか、市ホームページも改修し視覚障害者も利用しやすい環境の整備に努めています。ハード面では、道路のバリアフリー化について、事業用地取得の問題等により、困難な場合もありますが、バリアフリー法に基づく道路構造基準により設計・施行しています。また、施設保全の基本的な考え方において、ユニバーサルデザイン化の推進を掲げており、長寿命化への改修にあたっては、バリアフリー法に基づき、公共施設等のバリアフリー化に取り組むとともにユニバーサルデザインの考え方に配慮しています。今後、ユニバーサルデザインの視点に立ち、障害の有無や年齢、性別等個人の属性や置かれた状況に関わらず、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進していきます。



地方創生

久我 司 議員

答 地域経済が活性化し、ひと・地域・経済がつながり、持続する地域になるよう全力で取り組んでいく

久我議員 いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、4つの基本目標について目標達成度はどうか。また、その結果を踏まえ、どのように第2期総合戦略に反映させていくのか伺いたい。

市長 いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略の第1期では、雇用の創出・地域所得の向上・人口減対策・地域の魅力向上の4つの基本目標のもと様々な事業に取り組んだ結果、新たな地域づくりの土台ができ、多方面で地域創生の芽が出て全国に向けていすみ市の魅力発信へと繋がりました。しかしながら、地域にとつての課題である人口対策では、移住定住策、子育て支援など様々な取組を実施し一定の成果を収めていますが、自然減が多く、結果として人口増にはいたらず人口減少に歯止めがかかっていない状況にあります。

第2期の地方創生においては、第1期の成果を更に進め、残された課題の解決と第2期の目標に積極的に取り組んでいきます。また新たに行政主体から、民間や市民の知恵・力を活用する方向を主とし、いすみ市の地域が育ち、人も育ち、地域に新たな力が生まれることにより、若い人の定住が増加し、都市との関係人口が増加し、なお一層地域経済が活性化し、ひと・地域・経済がつながり、持続する地域になるよう全力で取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症対策

田井秀明 議員

答 感染予防に向けた対策及び啓発活動を継続し、新型コロナウイルスに向けた取組を最大限行っていく

田井議員 現在、感染を防ぐためにどのような対策を立てているか伺いたい。
副市長 市では、1月31日に新型コロナウイルスの対策本部を立ち上げ、国や県から情報を収集し、夷隅健康福祉センターと連携するとともに、市民の皆様に対しては、啓発のための感染予防のチラシを配布するほか、ホームページや防災行政無線などで周知を行い、また医療機関においては、テレビ電話による医師とのオンライン医療相談が始まりました。

また、市役所等の施設においては、手指消毒薬の設置や、窓口職員のマスク着用など、感染予防の処置を行っています。今後感染予防・拡大防止に向けた対策及び啓発活動を継続し、市民の方の新型コロナウイルス感染症防止に向けた取組を最大限行っていきます。

道の駅計画の現状

大曾根信太郎 議員

答 当初の計画を遂行することは断念したいと考えている

大曾根議員 市内景気回復の切り札として期待されている道の駅だが、市民からは進展しているように感じられないことから、進捗状況について伺いたい。
水産商工課長 市では、平成28年度より外部有識者で構成する道の駅検討委員会を

設置し、コンセプト、設置場所等について協議いただき、平成29年12月に提言を得たところです。その後、平成30年に道の駅検討の基礎資料、交通量調査、不動産鑑定を行い、整備の条件としては、建設コストや維持費がかからないこと、出店者の利益に繋がること、さらに事業用地の確保、運営事業者が揃った上で実行することでありました。

この考えで運営見込みのある事業者と協議したところ、不特定多数の乗用車等が通過する国道沿線でないことと採算面では非常に厳しいとの回答がありました。このため現在、計画は進捗していません。

このように民間事業者の見解を受けたことから、当初の計画を遂行することは断念したいと考えています。今後は、市が直販施設等を整備するのではなく、民間の力を活用することを主に、市内民間直売所が主力になってもらい、個性的に継続発展していくよう、市が民間の直売所に対する支援策をつくり、民間の知恵と力とスピードで、地域の農業・水産業と消費者を結び地域経済に寄与するようになりたいと考えています。

議会の傍聴自粛のお願い

議会の傍聴については、市民の皆様の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、感染の影響が終息するまでの間、控えていただきますようお願いいたします。

第2回定例会日程(予定)

- 5月25日(月)10時 開会
- 28日(木)10時 議案審議
- 6月1日(月)9時 委員会
- 2日(火)9時 委員会
- 5日(金)10時 委員長報告
- 議案審議
- 閉会

第2回定例会における一般質問については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

編集 議会だより編集委員会
0470-6211406
ホームページアドレス
<http://www.city.isumi.lg.jp/>
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp